

## 中川村議会だより第124号アンケート結果

### 1. 今号の内容や編集について（表紙・見出し・写真・紙面構成など）

- 特集号について、議員報酬の変更案が分かりやすくまとめられていた。
- 全国的に議会の成り手不足が報じられている中ではあるが、今回の特集号が村議会への関心を高める一助になることを期待している。
- 分かり易い表現で、誰でも読み易い工夫がされていると感じた。特集号に関しても、よく理解できた。
- 新型コロナウイルスへの対策を中心に、令和3年度の予算について理解を深めることができました。また、たんなる事実発表だけでなく、「どんなどころを評価したのですか?」「これはイイナと感じた事業は?」など、読み解きが行われようとしているところも評価できます。が、この二つは、「だれが」この問いを「誰に」なげかけているのかが不明瞭で、少し企画倒れの印象もありました。全体的に、主語が見えない印象です。
- P4~について。これはデザイン的な問題かもしれませんが、さまざまな「質問」と「回答」を続け様書き連ねるのではなく、ひとまとまりずつにすると、もっと見やすいと思います。
- コロナ禍では卒業式や卒園式の写真が載せれなくて、却ってどんど焼きの方が地域の様子が判り、結果良しとします。一つ欲を言えば写真の隅に地区名があれば私的にはより良いと思います。
- 2ページの「事業のどんなどころを評価したのですか?」は、非常に分かりやすい表現で良い視点だと思います。今後とも続けてください。
- 委員長報告のうち、5ページのホームページについては、広報担当部署が全体を調整するのがベターだと思います。
- 交流センターの事です。先日、坂戸橋の特別展示を見に行った折、感じたのですが、交流センターの看板が目立たなかったのです。「農業観光立村」を掲げる村としては、少し大人しい感じがしました。もう少し大きめの看板と、道路からも目立つように工夫して欲しい。
- 8ページの「石神の松」に記事について、先日気になり現地を見に行ったが、松くい虫が入っており手遅れと感じた。しかし、過去の経過もあり、以前のように人の目に触れる工夫をして、周辺環境整備も考えて欲しいと思った。道下になり、人が寄り付かなくなり、雑草の中に埋もれてしまった。
- 特別号に記載してあったが、今の時期に議会の若返りを是非進めてもらいたい。そのための住民アンケートの実施、子育て世代の議員活動の生活保障・体制の整備等重い課題があるが、頑張っ取り組んで欲しい。
- 特集号の誌面サイズをA4ならA版で統一した方が見やすいと感じました。  
(一度に一緒に頂いたから、余計に。)

- 写真説明のどんど焼きですが、小正月と書かれていますが、小正月以外に行われている地区が多く、説明にも不足を認めません。
- 議会だよりの構成について令和3年度予算の様な構成が良いのでは。4ページ以降が全て読み切らないと内容が分からない。村民の皆様に読んで頂ける様にするには、私自身見開き読むことをためらった。要点の記載を望みます。議事録としてでなく改善を望みます。
- 紙面のレイアウトは読みやすいと感じました。写真や図などが所々で使われており理解しやすいです。ただ、表紙の写真が4月号なのに1月の行事なのは仕方ないのでしょうか？もう少し季節感があると良いと思います。
- セリフの掛け合いでの説明が面白いと感じました。村議についての知識が余り無かったのですが、楽しく読むことが出来ました。
- 初めてのモニターです。今まで見出しをざっと見て興味のある内容と議員の記事に目を通すだけでしたので、これからは「こんなに読むのかー」と圧倒され、ちょっと気持ちも重くなりました。(引き受けたことに後悔?) でもあまり深く考えず思いついたことを書きます。的はずれも多いと思いますがご勘弁下さい。
- 表紙はその時の中川村を表わすものでいつも中味は読まなくても、表紙だけは見ていました。いいと思います。
- とにかく字が多くならないように。そして難しい言葉は使わないで。7割の字、あとは写真・イラストと教わりました。(おわかりでしょうか。この原則を持ち続けて下さい。) 読んでもらえる紙面作りって本当に大変ですよ。写真をインパクトのあるものを。今回の石上の松の比較はヒットです。この写真なら記事に入れます。
- 表紙(肌色に青)と本文(黄緑)の色づかいがあまりよくない。それぞれみれば文字がみえにくいところはないし良いのだけれど、表紙と本文が別々にデザインされた感じがする。
- P2、P3の質疑、賛成討論よりどんな事業があるのかをのせたほうが良いように思う。また各事業が何費なのか、河川整備→土木費?なのかとか、記載があってもいいのでは?
- 視察報告なのはすぐ目に入って理解したが、報酬～会、総務～会の文字は、文字間もくっついているし、背景も縞で図象化して読みにくい。
- 特集号は同じ大きさにすればよかったと思う。
- 2月の特集号昔の言葉づかいで読みにくい。イラストのタッチは統一で右下のイラストいらない。
- 議会だよりのNo124 2ページ、3ページにグラフが分かれているので見にくい。
- 今回はどんど焼きをテーマとして取り上げたようですが発行が4月と言う時期でもありますので、時期に即した表紙が良いと思います。
- 一般質問の中から(柳生議員：子ほめ条例の制定を) 村長の考えは制定するという考えは持っていないとの返答であり、ゆっくり温かい目で見守ってゆくことが

大事である…。では、温かい目で見守ってゆくことは具体的にはどういう事なのか、村長の考えを今一度質問してほしかった。

- 毎回、議会だよりを手にとった際にじっくり読むページは「一般質問」です。(それ以外は、ほぼ読んでいませんでした) 理由は2点あります。1つ目は、議会だよりの中では見易いレイアウトだからです。議員の皆さんの顔写真と色付きの見出し、そして横に引かれている罫線が視覚的に読み易いのかなと思いました。2つ目は、議員の皆さんがどんな思いを持って、どの分野に注がれているのか、そして村長がどう応えているのかということが分かりやすいからです。したがって、他のページでも顔写真が載ると、読者にとって目が向きやすく、読もうという気持ちになりやすいと思いました。
- 特集号の内容や編集について、カラー見開き両面にまとまっていて各回、伝えたい内容がよく伝わってきました。もし、この特集号が続くのであれば、これまでの号で、若手議員の必要性については伝わったと思うので、今後は、現村長、現議員さんがどう思っているのか、例えば、若手に何を期待しているのかや、議員のここがやりがいがあるなど、本音トークを座談会形式で載せたらぐっと身近なこととして議員立候補を考えるのではないかなと思いました。
- 特集号で議員のなり手不足の特集をやっていただいたのでよかったです。今後も議会だよりが身近に感じられる特集を組んでいただけるといいなと思います。
- 特集号の「大江戸中川村」では、ちゃんと議会だよりモニターさんの意見も取り上げられていて面白い語りて風にしてあり、読むのも楽しく読むことが出来て、興味も持てる内容になっていて良かった。

## 2. 議会だよりに載せて欲しい情報は

- リニア中央新幹線対策委員会の状況について、ホームページだけでなく、議会として小和田地区の状況を知らせる工夫をしてほしい。
- 各種取り組みの現況について引き続き掲載して欲しい。E x. 地域活動支援センター、農村観光交流センター、空き家対策等
- 村支援事業の状況、活用状況等
- 私たち村民が生活で利用する事業内容を詳しく説明してくれると助かります。
- 議会、議員に興味を持てるように議員さんそれぞれ個人的な思いや考え、議員をする中での気づきなど、載っていてもおもしろいんじゃないか？
- コロナ禍において人と人との交流の場、行事等が少なくなりこの先が心配です。全国の中からこの状況下において取り組んでいる様子が分かる情報があったら載せていただきたいと思います。
- まず、議会だよりの発行目的と読んでほしい対象がどこなのか改めて考える必要があるのかなと思います。というのも、私自身は仕事と子育てをしており、日々に追われモニターというチャンスをいただかない限り、じっくり読むことをしようとしませんでした。せつかく発行する村のたより、たくさんの方々に読んでも

らえるよう、まず、読んでいる or ない等実態調査をし、そこから内容構成を考えていくというのが、“よりよくする”ということのスタートではないかなと思います。ご検討していただくと嬉しいです。

- 表紙の写真が伝統行事のものであったが、少し時期が遅いので、古く感じてしまった。議会だよりの表紙・写真については、年間を通したテーマを持っての紹介であれば多少なり時期ずれをしても村民に伝えるうえで必要と考えられるので、テーマを持って構成してほしい。内容については、以前よりもよりわかりやすいものでとても興味深く見れました。
- 陣馬形山キャンプ場の利用状況や山頂の情報

### 3. 議会・村に対する要望、意見等

- 保育園、小学校の校庭の緑化（芝生化）をご検討いただければ嬉しいです。特に保育園。
- 望岳荘体験館の活用について  
「改修工事に 3500 万円を投入してどの程度の効果があるか」という質問に対し、「全体計画がない中でも、改修はまず取り組むべきものとして予算計上する」「これまでの積み重ねの中で取り組んできたことなので、進めるべき」など、気になる解答や討議内容があった。全体計画がないのに何故ここまで進んできたのか、やり直すべきとの意見が多数出ているにも関わらず、何故結論としては進める方向になっているかと、疑問を感じた。最後の委員長意見に「中川村全体の観光ビジョンを早急に樹立」とあるが、ビジョンの確立後に全体像を見ながら改修した方が、より良いものになるのではないかと感じる。
- 「空き家対策空き家情報発信」と「各地区新規加入者への対応」について私自身が移住者であり、暖かく地域の仲間に入れていただいたことに感謝している。議会だよりの項目からは空き家対策の効果として、移住定住の促進による人口増加が期待されていることが読み取れる。しかし一方で、地区に加入しない住民が増えることは、村の方々がこれまで長い歴史の中で大切にされてきた繋がりを壊すことに繋がる危険性を孕んでいることも分かる。飯島議員さんが仰るような地区加入のガイドラインには難しさはあるかもしれないが、空き家情報発信などの際に中川村ではそれぞれの地区において地区加入金や地区費があること、地区清掃活動や地区独自のお祭りなどがあると案内すべきだと思う。こういう情報を事前に見せることが移住定住後のトラブル防止と受け入れる地区の住人の安心にも繋がると思う。村としても人口が増え、受け入れの機運が高まれば、空き家の情報公開、体験館整備など、夢のある討議ができるのではないかと感じる。
- 要望、とは違うのですが、現在、村の有志のメンバーで集まる「なかがわ持ち寄り会」にて、中川村長、中川村会議員のみなさん、そして新任でいらした中川村教育委員会委員長さんにも、インタビューをしてみたいね、という話題が出ています。というのも、教育のこと、仕事のこと、地域（地区）のこと、なにか

村でイベントをやりたい！と思いついたとき、などなど、どなたがどのような思いやまなざしと、得意分野を持って議会に臨んでいらっしゃるのがわかると、「この話題はこの方に」と相談しやすくなるのではないかと、この思いからです。おそらく、知っている方には知られているのだと思うのですが、移住者や、若手世代のなかにはまだまだ知らない方も多いと思うので、みなさんのことを第三者の目線からお話をお聞きし、お伝えする（もちろん事前に内容のご確認をいただいたうえで）というものが、できたらと考えておりますので、またご相談をさせていただきたく存じます。

- 定例会の報告の議会だよりになっているが、中間に特集号等で議会の取り組み状況を広報することを考えてみてはどうだろうか。
- 20代～40代の村内在住者との情報交換を行ってもらいたい。吸い上げでなく、議会・村からの歩みより法で。現在はコロナ禍で自粛ですが、今が実施方法を検討する良い機会でないか。
- 高木村村議の「休日・夜間議会」は興味深いです。報酬を増やし職業村議にするのではなく、一般に働いている人が議会に参加できるようにする方向性を探してみたいと思います。
- 空き家対策は深刻ですね。空き家とは「多少の改修などで居住できる住宅」と書いてありますが、荒れ果てているのは廃屋というのでしょうか。ウォーキングをしていると廃屋も多いですね。草や庭木に覆われています。心が荒みます。景観上もよくないです。家屋もそうですが周囲の田畑もひどいです。望岳荘の前のあき地や坂戸旅館など観光地にも中川村の印象が悪くなります。持ち主がいるでしょうが、村としても対策をして下さっていると思いますが。
- 交流センター知名度がいまいちです。「何をやる施設なのだろう？」と。もっともっと宣伝して下さい。
- 体育館の活用方法もそうだが、観光やワーケーションというより、村民が楽しめる場所にももっと力を入れてほしい。村民や近隣市町村の方が楽しい場所は、観光や移住を考えている人にも魅力的であるはず。雨でも体を動かして自由に遊べる場所や気軽に集まれる場所(ゆっくりできる場所)、ウォーキングや散歩のできる森など！
- 2月末にオートディスペンサー詰め替え用アルコール6袋配布いただきありがとうございます。事前に地区費にてアルコールを購入しており、集落センターを使用する頻度を控え、文書の回覧、代表者による会合にしております。3袋にして残りを保育園、老人福祉施設に配布しても良かったのでは。
- 3月末の新型コロナウイルス感染症情報の中に抗原検査等の補助金の期間とありますが、対象期間前に自己都合ではなく(組織のリーダー、会合を召集する人等)立场上検査を受けた人もいると思いますがどうでしょうか。
- 身近に居る村議の方たちとの交流会(開催出来る条件下の中で)(意見交換等)
- このモニター活動はどのように、どれくらい議会だよりで反映され、反映された

場合は意見者(モニター)に何か知らせがくるのか知りたいです。議会だよりをよりよくしていくためのモニターだと理解しており、そのために、時間と労力を費やすので、書くだけ、提出するだけにとどまらないといいと思っています。

- 議会のみならず各所にて常に議論出来るような状況があればいいなあと思います。立ち話し程度でも多少なり意見交換出来れば、もっと村が良くなるのではと思います。
- 各地区に新しく入られる方達の情報を教えてもらえると少し助かります。「個人情報になる」と言われると無理なのかもしれませんが、その人の第一印象等、総代が話に行く時に少し心構えになるとと思います。

#### 4. その他

- モニター、はじめてのため、何をどう書いたら良いのか手探りな状態ですが、少しずつ進めていきたいと思っています。宜しくお願い致します。
- 今年4月から、我が家の子供が県外に移り住んだ。その直後に参議院補欠選挙があったため不在者投票を希望したが、不在者投票についての情報を村のホームページ上で確認することができなかった。インターネットで調べると他の市区町村では役場ホームページに不在者投票の手続きの方法、申請書のダウンロードなどがある。今回は初めてということもあり、不在者投票の制度がよく分からず棄権せざるを得なかった。初めて得た投票権を棄権したことを本人は非常に残念がっており、保護者間でも話題になった。就職や進学で県外に出ていく若者が多い村のことである。特集号でも若者の政治参加が呼びかけられているが、皆で社会を作っていこうとする若者の気持ちを大切にするためにも、不在者投票の周知と不在者投票の分かり易い説明、役場ホームページからの申請書のダウンロードなど整備を進めていただきたい。2年間お世話になります。よろしく願いいたします。
- 令和3年の議会なら、表紙のナンバーの所に西洋暦だけではなく、令和3年の表記も欲しい。特集号の2月は、読みやすく馴染みやすい内容だと思いました。今回から、議会便りのモニターになり、初めてゆっくりと議会だよりを見るようになりました、意見を言うために読むので無く、意識して読みたいと思います。
- 今までは、村議会について殆ど興味も知識も無かったのですが、今回モニターを引き受けることで積極的に学んでいこうと考えております。
- 4/21の信毎にちょうど生坂村の議員報酬をかえたら新人3人、20年ぶりの選挙と書いてありました。55才以下が18万から30万へ。いい方法と思います。生活ができなければ議員どころではありません。小値賀町がだめになった原因(報酬のため)だけではないと思いますのでもっと調べてみて下さい。
- 一般質問のコーナーで地区の事が入るのがわかりません。
- 今月、現議員さんが死去されとても残念です。唯一の女性議員さんでしたので、女性からの視点・観点からの発言が少なくなってしまうのが少し不安なところで

もあります。ご冥福をお祈りいたします。新たな女性議員の誕生を願っています。  
○子をほめて育てる事や消防団員への思い、そして、議員のなり手不足問題と村を  
良くしていこうとする行動本当に助けられます。中川村本当に良い所で良かった  
です。ありがとうございます。